

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.26

No. 774 2005年12月15日

JR東海労働組合

CD 17185 (連合「不払い残業ダイヤル」報告より)

構成組織名	JR連合/JR総連	相談者	母親
企業名	JR東海・名古屋駅	組合	あり
関係企業		業種	鉄道・運輸業
都道府県	愛知県名古屋市		
相談内容	娘の相談。ジェーアール東海に入社して1年半になりました。入社以来、新入社員は、通常勤務終了後自主研修の名目で、ほとんど毎日1~2時間残業研修がおこなわれても、残業手当は支払われていない。研修講師は残業手当あり。また、毎日勤務は1時間前に早出を義務付けているが、早出残業はついていない。今年から、新入社員の研修は残業手当がつくようになったが、昨年までのものにはついていない。労働組合には相談しにくいので連合ではなしてもらえないか。		

「労働組合の任務」

それは組合員の要求を実現することだ！

JR東海労は12月9日から「一方的な休日出勤」に反対し、ストライキに突入。特休を特休として休むことを実現している。このストライキがよほどお嫌いなのか東海ユニオンは、わざわざ『見解』まで出すという異例さだ。「休日出勤解消」という同じ要求にもかかわらず、なぜたかだか550名のJR東海労のストに、こうも神経質になるのか理解に苦しむ。しかし、企業の代弁者としてのみ存在意義があるユニオンとしては、てめえのところの組合員や親御さんの泣くような職場の現実には知らないらしい。労働組合の任務とはいったい何か！会社に言われて金切り声をあげるより組合員の声に耳を傾け、要求を実現し、荒廃した職場を改善することだ。一部の学士のみには魅力ある会社であってはならない。

スト批判もいいが、てめえのところの組合員の泣くような訴えに耳をかせ！親御さんの悲痛な叫びを聞け！休日勤務どころか毎日の残業の強要は許せるのか！